令和７年度　第１回　中野市立図書館協議会会議録

開催日時　　令和７年７月３日（木）午後３時00分から午後４時21分
開催場所　　中野市立図書館　２階会議室
○出席者（委員７名）千野美奈委員　坂井正幸委員、牧野一雄委員、西原芳子委員
　　西澤みつ委員、寺島正友委員、松本則夫委員、
○欠席委員　三井早織委員（連絡なし）、小池市子委員（連絡有）、小林則政委員（連絡有）
（事務局　教育委員会図書館）　小林館長、町田副館長、北原副主幹、青木副主幹

会議内容
１　開　会（事務局:副館長）
・出席委員数が10名中７名参加、条例に定める過半数出席、会議の成立を伝える。
２　あいさつ（事務局:小林館長挨拶）

３　自己紹介(次第資料添付名簿順に自己紹介)

４　会長及び会長代理の選出について(進行・小林館長、事務局:町田副館長)
(事務局副館長)会長、会長代理について説明後、委員全員の承認あり
・会長には坂井正幸委員
・会長代理には、西澤みつ委員に決定

５　会議事項（以降、坂井会長、会議事項進行）

(1)　令和６年度市立図書館事業報告について（※資料Ｐ2～8を副館長説明）
（質疑応答）
(委員):3ページの運営状況の本館の開館時間を１時間延長して、まだ途中ということですが、どのような利用状況なのか説明をお願いします。
(事務局:副館長):リニューアル工事後の開館時間を試行で1時間延長した利用状況については、後の項目で説明をさせていただく予定でしたが、13ページの資料下段の令和６年度の利用状況調査についての①【館内在館者数】の表をご覧ください。11月から３月までの利用状況になります。当初は３月までの予定でしたが、冬期間のみの利用状況では開館時間の延長を実施する、しないの判断が難しいため、4月以降も開館時間を１時間試行延長して調査しているところでございます。
　調査の状況ですが、館内に在館している利用者の状況を職員が見回りを兼ねて、18時、18時50分、19時30分、19時50分と４回目視で調査をしている状況で、18時50分以降館内に在籍している方のほぼ８割は中高校生で、そのうち約９割は高校生と思われます。また、19時50分の時点で多い月で１日平均18名の利用があります。また、11月と２月に利用が多いのは高校・中学とテストがあることから多くなっていると思われます。この間の19時50分で、多い月で18名、少ない月で８名ということで、０人ということはない状況で利用していただいています。
(委員):ただいま利用状況の説明があり、中高生の利用がメインということで学習する場所が

あり落ち着ついて勉強できるということはありがたいことだとは思いますが、図書館は教育委員会の教育的機関ということであるので、午後 8 時に閉館して、家に帰って遠い方で 8 時 30 分、9 時になる方もいらっしゃると思いますが、家に帰って夕飯を食べて風呂に入って翌日の授業への備えという教育的な配慮という部分もあるので、来年の 3 月 31 日まで試行ということですが、利用者数と学校教育的配慮という部分がどうあるべきか、ということを検討していただいて結論を出していただければと思います。

(事務局:副館長):試行で開館時間の延長をさせていただいており、1 年間利用状況調査を実施させていただき、来年の 2 月に予定していますこの協議会において、開館時間の延長について説明をさせていただきます。

(委員): 3 ページの 1 の運営状況の分館の開館時間ですが、分館が 3 つありまして、北部と西部の土曜日の開館時間が異なることについてどこかの時点でそろえることが望ましいのではないかと考えるが、どのように考えているのか、また、4 ページの「本館分館の利用状況内訳」の入館者数ですが、北部の利用者令和 6 年度 531 人に対し、西部が 316 人で貸出数も北部が 313 人の、西部が 133 人で西部の方が土曜日の開館時間が多いが、北部の方の利用者が多く地域的な状況があると思うが、西部分館のてこ入れとう考えていただいているとは思うが、西部はもともと公民館の図書室ということで児童書が多かったわけですが、一般書も購入されていると思いますが、西部の利用を増やす、てこ入れを考えていただきたい。

また 5 ページ図書購入費北部は一般書が 125,697 円、西部は一般書が 90,263 円の児童書が 76,259 円で図書選定は公民館の職員や選定委員の方が選定していると思いますが、西部の児童書が多い状況で、北部に比べても多く要望があってこのような状況になっていると思いますが、児童書の割合が高いので一般書の方も、もう少し多く購入していただくことも考えていただければと思います。

(事務局:副館長)北部と西部の開館時間、利用状況については、立地的な状況もあるかと思いますので、利用者の方の意見等もうかがいながら改善できるところがあれば検討していきたいと思っております。

(委員):4 ページの入館者数の増減についてですが、令和 6 年度は令和 5 年度に比べて増えていることは、良かったなと思っていますが、入館者数は増えているが、図書館の一番の中心である本の貸出人数が減っていて、かつ貸出冊数も減っていてということですが、単純に考えると最近の文字離れが進んでいるのか、どうなのか、また、その文字離れは年齢による違いがあるのか、ないのか、私は年齢による文字離れはあるのではないかと自分では勝手に思っているが、文字離れが進む中、図書館のとしての役割や今後方向性というものを考えていかなければならないのではないかと思いますが、わかる範囲で説明をしていただければと思います。

(事務局:副館長):今の時代、本などの電子化等が進み文字離れが進んでいるのではないかと図書館としても感じています。昨年リニューアルをして、ソロワークスペースなど整備し利用者については増えているということです。

資料の開館日数をみていただくと令和 6 年度が 279 日、令和 6 年度が 287 日で 8 日開館日数が、少なくなっています。

これはリニューアル工事をした関係から閉館して工事を実施したことによるもの

ですが、8日間開館日数が少ないことも、本の貸出人数、貸出数が減ってしまっていることの原因と感じておりました。

図書館では先ほど説明させていただきましたが、図書館まつり等を開催しまして、今まで図書館に来たことのない方にも来ていただくような行事を開催しています。初めて来た頂いた方に図書館を利用していただく、図書館の中に入ってもらい知っていただくことで、利用者を増やし図書の貸し出しも増やしていきたいと考えて現在事業を進めている状況です。

委員からお話があったように、活字離れということはあると思いますので、今後どのように本の貸出数を増やしていければよいか職員で考えて利用者を増やしていければと思っております。

(委員):8ページの子供の開架コーナーのリニューアル前とリニューアル後の写真を見ると、リニューアル後には遊具がすごく多くなってしまい、書架がすごく減ってしまって、私たちの会では定期的にお話室で読み聞かせ会を開催させていただいているが、工事が終わって本選びをするときに最初見たときにあれと感じたのが、書架がこれだけになって紙芝居もいっぱいあったのにこれだけになってしまったり、本の配置が変わったりして戸惑っていました。

子どもたちは開架の本を見みながら選ぶと思いますが、本の冊数が減ってしまったということは、それだけ目にする本が減ってしまったということで、少なくなってしまった本の部分をどのように子供たちに見せるようにするのかお聞きしたい。

(事務局:副館長):委員おっしゃるとおり、リニューアルして遊ぶところが増えて、書架が減っている事実はございます。2月の協議会でもお話をしていますが、少しではありますが、縦長の書棚を1つ追加し、また児童コーナーの入口のところに本を紹介する本棚を3月中に購入しまして増やしています。今後何か利用して不便な点等ありましたら、カウンターの職員に伝えていただき、改善できるところは改善していきたいと考えています。

(委員):リニューアル前にお話したかと思いますが、ツタヤ図書館のように子供さんが手の届かないような高いところに本を設置しない方がいいのではないですかということをお話させていただきました。それと真ん中の遊具ですが、旧長丘小学校のハブリックとは目的が違うと思うので、図書館の遊具は子供さんとお父さんお母さんが遊びながら本に親しむ場所としてはいいと思いますが、図書館は本が命なのでどれだけ開架に本を並べられるかで、以前はこの場所には動物とか植物のいろいろな本が並んでいた場所でもあるかと思うので、遊具もあってそれはそれでいいと思いますが、図書館の設置目的からすれば西澤委員が言われたように倉庫から本を持ってくるのではなく、本を手に取って見れるということを大事にしていただきたい。大人の方でも児童書はわかりやすいので、利用してもらい、利用者が少しでも増えるような検討をしていただければと思います。

(事務局:副館長): 遊具の場所については、当初計画した時よりもイスなどを増やしたりした使いやすく改善しています。また、時々見回りの際子供さんが遊具で遊んでいる脇で椅子に掛けて本を読んでいるお母さんを見かけることがあり、遊具を設置し有効に活用されているのかなと感じているところです。また、書架の減っている部分については、改善できるところは改善していきたいと考えています。

(会長):ほかよろしいでしょうか、たくさんのご意見ご要望ありがとうございました　現在の議事は(1)令和６年度市立図書館事業報告についてですが、こちらについて承認をお願いします。

（出席委員の承認あり）

(2)　令和７年度市立図書館運営方針及び事業内容について

〇運営方針、事業内容について

※事務局:副館長　資料のＰ9(2)〇運営方針について、P10〇事業内容について、資料により説明

（質疑応答）

(委員):10 ページの 7 の子どもの読書活動の推進のファースバースデーブックは何人ぐらいの対象の方がいるのか

(事務局:副館長): 年間 250 人ぐらいです。中野市に住んでいる１歳の子供さんが対象になります。

(委員):ファースブック、セカンドブックということはよく聞くが、ファースバースデーブックは初めて聞く言葉なので良い事業だと思いますが。

(事務局:副館長): 本に触れていただく機会を増やすため今年度新たな事業で始めさせていただきました。

(委員):これも絵本ですか

(事務局:副館長):絵本です。

(委員):事前に保護者への説明はどのように。

(事務局:北原副主幹): ファースバースデーブックはお子様の記念になるように、お子さんの名前を入れられる知育ブックという絵本がありまして、保護者の方に１歳児健診の時にその本を作れるチケットを渡して、インターネットから保護者方がお子さんのお名前や好きな物を入れていただいて、そのお子さんの絵本が届くという仕組みになっています。

(委員):健診時に紹介してネットで申し込みという方法か。

(事務局:北原副主幹):保護者の方に URL の書いたチケットを渡してご本人に申し込みをしていただいています。

(会長):ほかよろしいでしょうか、ただいま、運営方針、事業内容について事務局より説明のあったとおり進めるということで、よろしいでしょうか。

（出席委員の承認あり）

〇図書館 IC タグシステム整備委託業務について

※事務局:副館長から資料のＰ11 により説明

(委員):IC タグはすべての本、何冊に付けられるのか

(事務局:図書館長):今年に関しては、開架書籍 10 万冊に IC タグをつける予定でいます。また、来年以降閉架書籍については随時付けていく予定で計画をしています。

(委員):利用者が読んでいる方がいて、その本に付ける場合の規制のようなものはあるのか。

(事務局:図書館長):開館中にも作業を行う予定です。当然のことですが、利用される方に配慮したうえで IC タグを付ける作業をしていきたいと考えています。

(委員):開館中作業をするということは、IC タグが付いていない本が借りられていて、その本が

帰ってきたところでICタグを付けるということでよいか

(事務局・館長)そのとおりです。

(坂井会長)現行のシステムの運用とICタグを付ける作業を並行してやっていくということになりますか。

(事務局・館長)会長さんおっしゃるように、並行してやっていくようになります。

(委員):ICタグシステムを導入することは、いいことずくめとは思いますが、プライバシー等に配慮し、利用者の方にICタグシステムについて十分な周知などしていただければと思います。

(事務局・図書館長)承知しました。

(会長)ほか特になければ、ICタグシステム整備委託業務については、事務局から説明のあったとおり事業を進めるということでよいでしょうか。

(出席委員の承認あり)

○図書館総合管理業務委託の契約更新について

※事務局:副館長から資料のP12により説明

(委員): 業務委託の関係で、利用者の方はどのようにとらえているか、おわかりになっていればお話いただきたい。また、私の経験でいくと、今日も図書館に来て公園が環境整備されていてとてもいいなと思ったこと、一番気になっていたことは、アメシロがいるかなと見たところいなかったので、管理が良くされているのだと感じました。管理面では素晴らしいものがあるのかなと勝手に想像しました。

資料にも書いてあるが、業務を長期委託継続することにより勤務経験がと書いてあるが、カウンターの職員の方については対応が適切な方と適切ではない方がおられたりするもので、そのところが以前とはちょっと違うのかなということが個人的な考えで、そのところが良くなればいいなという気持ちです。

一般的に、ちまたでは、図書館の業務を民間委託で、よいのかというようなことが、新聞等にも出ていることがありますが、説明のあった方向で長期業務委託して行くということであれば、利用者からの声を聞き、対応ができれば大丈夫だと思いますので、進めていただければと思います。

(事務局:館長)長期継続契約につきましては、先日、閉会しました中野市議会定例会でも数名の方から質問をいただいております。長期継続契約について教育委員会事務局で話し合った結果、中野市立図書館については、先ほど副館長から説明したとおり、来年以降も委託業務を長期継続するという考えで進め行きたいと考えています。

カウンター業務については委託しております。通常カウンターにいる職員は2名体制で、10名弱の委託職員により交代でカウンター業務を行っているところですが、今後、委員がおっしゃるように適切ではないということがありましたら、私ども職員にお伝えいただき、改善できるところは改善したいと考えておりますので、よろしくお願いします。

(会長)ほか特になければ、図書館総合管理業務委託の契約については、事務局から説明のあったとおり事業を進めるということでよいでしょうか。

(出席委員の承認あり)

(3) 中野市立図書館開館時間の延長(試行)の実施状況等について

※事務局:副館長から資料のＰ14により説明

（質疑等は特になし）

(4)中野市生涯学習推進会議委員の推薦について

＊事務局:副館長から説明

市では、生涯学習のまちづくりに関する施策を総合的に推進するために、中野市生涯学習推進会議を設置しています。推進会議は、社会教育委員、関係団体の代表者、公募に応じた市民など20人以内で組織されています。本協議会からは、本日欠席ではありますが、bご本人に電話で打診したところ公募委員の小林則政委員を中野市生涯学習推進会議委員として、推薦したいと考えています。

(会長)ただいま事務局から説明のありました推薦者について、委員の皆様から何かご意見等ありましたらお願いします。

（ご意見ご質問は特になし）

(会長)　特になければ小林則政委員を中野市生涯学習推進会議委員として、推薦いたします。

(5)その他

(事務局副館長)この図書館協議会ですが、年２回開催しています。次回は来年の２月に開催する予定です。開催の１か月前には通知を出したいと思いますので、ご出席のほどよろしくお願いします。

※会長が会議事項を閉会後

(会長)私は須坂に勤めていますけれど、同僚と会話をした中で、中野市の図書館っていいよねという話になり、どんなところがいいかというと、きれいだったり、本がすごいという話がありましたのでこの場で述べさせてもらいました。

６　その他

事務局(副館長):本日出席の委員報酬の支払いについて説明

７　閉　会　(事務局副館長)

終了時間　午後４時21分